

うんん～
でないよ～

子どもの便秘薬

◎子ども用の便秘薬を確認する

便秘は、一般的には一定期間、十分に便が出ない状態をいいます。ただ、毎日出ていても、出す時に痛かったり、肛門が切れて血が出るような場合も便秘と考えます。

便秘にならないように、規則正しい生活や食事、水分補給、運動、腸内細菌を整える・育てるものを食べるなど、普段の生活の中で工夫をしましょう。また、小さなお子さんと母乳の不足、調整乳の希釈方法の誤りでも便秘になることがあるので注意しましょう。

便通が気になる方は、「プリストルスケール」という便のタイプ(硬さ)を7種類に分類

した世界共通の尺度がありますので、状態を記録し、調子の良い時の食事や運動などのパターンを探るのもよいでしょう。

便秘になってしまった時、市販の薬を選ぶ方も多いと思います。

薬を買う時は、箱書きの裏を読み、**子どもが使っても良い薬なのかを必ず確認してください。大人用と同じ成分でも、入っている成分の配合のしかたや量によって、年齢に応じて使えない薬があります。十分注意して下さい。また、大人専用の薬を子どもには絶対使わないでください。**

◎小児(15歳未満)用便秘薬の主な成分

薬のタイプ	主な成分
浸透圧性下剤 腸内の浸透圧を高くして便のもとに水分を含ませるタイプ	・マルツエキス(3歳未満のみ使用) ・酸化マグネシウム
潤滑性下剤 便のものと表面張力を弱め水分を含みやすくするタイプ	・ジオクチルソジウムスルホサクシネート
刺激性下剤 腸を刺激して動かすタイプ	小腸を刺激：・ヒマシ油 大腸を刺激：・アロエ・ダイオウ・センノシド・センナ ・ケンゴシ・ピコスルファートナトリウム水和物
浣腸、坐薬 坐薬タイプは12歳以上のみ使用可能	直腸大腸を刺激：・グリセリン・ピサコジル 炭酸ガスを発生：・炭酸水素ナトリウム+無水リン酸二水素ナトリウム

のむ便秘薬は、のんでから2～3日、遅くとも1週間くらいで改善されるのが普通です。

便秘薬は、安易に使うと習慣性になることがあるので、連用せず、頼りすぎないように

注意しましょう。もし、使用しても改善が見られない時は、使うのを止めて、その薬の箱書きなどを持ってお医者さんに受診してください。

薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5

<http://www.gifuyaku.or.jp>

岐阜県薬剤師会

検索